

## 長月を迎えて

## 分所長 高木 敏彦

先月は、長雨に猛暑と続きまだまだ残暑の厳しい毎日ですが、皆さま方にはいかがが経過してでしょうか。緊急事態宣言が発令され、先の見えない状況ですが、お土、お松、梅の活用をばかり各自で油断なく過ごしていくことが求められます。

一 一月の碧南分所秋季大祭・慰霊祭は皆様の参拝を迎えて開催できますように祈っています。

## 神の家建設への縁

## 藤浦 直

現在三河本苑では、神の家新築工事が進められております。この神の家新築工事のお話は十数年前より、歴代本苑長様方々のご尽力により建設場所の候補選りから始まり、色々な制約の中、現在の本苑駐車場の土地に決定して始動し始めました。地元の建設会社に基本設計をお願いし、建設業者二社に見積を出して頂きました。しかしながら、設計図を検証した生田さん(二級建築士)より、設計図の内容に疑問があり再検討を要す必要があるとのことより別の業者を探すことを考えていました。

たまたま、本苑規定の中に重要な物件購入の際には三か所以上の見積を取る事というのがあり、鈴木啓誉さん(大鈴建設)の推薦で、**社寺仏閣建築の専門会社である亀山建設の名前が出てきました。**実は、この亀山建設さんは、私が自営業の鬼瓦販売をさせて頂いていた時にお世話になっておりましたオザワコーポレーション様の取引会社である関市の亀山建設様のごでした。オザワ様、亀山建設様両社共、ISO認定も受けておられる信用の出来る会社であります。

三社目の見積を依頼するため、本苑役員の了解の下、碧南分所長の高木さんとオザワコーポレーションの社長との三人で亀山建設様に相談に行かせて頂きました。面談には亀山社長自らご対応頂き、社長は地元の建設会社の図面を見て即座に、「この図面は普通の家の見積ですね。もう少し神殿らしい建物にされては如何でしょうか。」のご提案をして頂きました。また、請負が決まれば、自社の設計士に改めて設計図を引かせ、その設計費用も要りませんとの有難いお言葉も頂きました。その後、亀山建設様社長、設計士さんが三河本苑に来苑され、本苑責任役員との面談と現場の視察をされて行かれました。

上棟祭の折の亀山建設社長さまのご祝辞の中で「私共がこの神の家新築工事のご指名を頂いた折に誠に生意気なかつ僭越なご提案をさせて頂きましたが、工事が始まって初めて来させて頂きましたが、**このご提案は間違いは無かった**と思います。日本建築というのは、長い歴史伝統の中で培われて色々な技術で有ったり、美しさというものが織り込まれた建物であると思います。この屋根の形というのは、建物の宗教性、そして正本性というものを一番大きく表しているのではないかと思います。」とお言葉を頂きました。有難いことに、五〇年近く鬼瓦製造販売という仕事をさせて頂いて来て三年前に廃業致しましたが、**その仕事の繋がりが三河本苑神の家新築工事へと繋がって来た事は感謝で一杯です。**来年八月には新しい本苑が出来上がりますが、中に入る三河本苑信徒の真価も問われて来ます。色々な問題を抱えたままでは成り立っていきませんので、信徒全員で和合し新しい本苑作りに参加させて頂きたいと思えます。

## 主な行事予定

九月二一日(土)午後七時より

全国一斉平和祈願祝詞奏上

九月二二日(日) 午後一時半より

碧南分所月次祭 担当第二班

九月一九日(日) 午前十時より

三河本苑月次祭・全体会議

九月二三日(木)

三代教主様毎年祭(三一年)

九月二六日(日) 午前十時より

宣伝使になるための研修会 本苑にて

一〇月一〇日(日) 午後一時半より

碧南分所月次祭 担当第三班

一〇月一七日(日) 午前一〇時より

三河本苑秋季大祭・祖霊慰霊大祭

**冠沓句募集**

冠句 「現界の」「清らかな」「現(表)れた」

沓句 「驚いた」

締め切り 九月一九日 本苑月次祭

一〇月一八日(月) 午後七時より

霊界物語全国一斉拝読会

## 九月の誕生者

**おめでとうございます！**

市古美弥子 9月4日 岡本 勝 9月4日

杉浦 陽子 9月9日 堀江 あゆみ 9月9日

奥谷久美子 9月10日 三浦幹太郎 9月10日

鈴木 さやか 9月18日 高橋 英彦 9月19日

萩原 芳美 9月20日 角谷 満代 9月24日

三浦 晃子 9月28日 蒲生 和高 9月30日